中村国際ホテル専門学校 評価結果 (評価対象期間:令和4年4月1日~令和5年3月31日)

(5:満足する、4:ほぼ満足する、3:やや満足しない、2:満足しない、1:全くできていない)

①評価領域A

		評価項目		自己評価	課題と改善方策	学校関係者 評価
1 産業界等との連携	1.1 産業界等のニーズを包含した教育	学校のミッション	ミッションは本校の教育理念を具現化した ものになっているか ミッションを決定する方法は妥当か ミッションは学校内外に明確に示されてい るか	4	ミッションは教育理念を具現化しているが、内外への明示が不十分 である。	4
		アクションプラン	アクションプランは本校の戦略や教育理念 等を反映したものになっているか アクションプランの実施に当たっての組織 や予算の設定は成されているか アクションプランの満足度は評価されているか (学生、教職員、外部の学校関係者の 評価とその報告書の作成)		年度運営計画を立案し実行できているが、それに対する満足度評価 の確認まで至っていない。	4
	1.2 社会の方向性や産業界の要	教育課程 産業界のニーズを評	必要とされる知識や技術が産業界等のニーズを反映したものか(調査方法等) 教育課程は産業界のニーズと合致したものであるか	5	令和4年度からの新カリキュラムの策定にあたり教育課程編成委員会および理事会・評議員会において産業界からの意見を聴取し、産業界のニーズをより取り入れた教育課程とした。 職業実践専門課程やTedQual審査を有効に活用している。	5
		価するシステム	いるか	5		5
		産業界のニーズに合 致した教育課程に改 定しているか	教育課程が社会ニーズを積極的に取り入れてきたか 教育の改善の結果の測定は行われているか		・令和4年度からの新カリキュラムの策定にあたり、産業界のニーズをより取り入れた教育課程とした。 ・CEFRの基準による学生の英語力の評価・分析を行い、TOEICスコアを基準として英語教育の効果の測定を行っている。	

		評価項目		自己評価	課題と改善方策	学校関係者 評価
2 学生			募集要項等の入学資料に入学資格、教育課程、教員、入学手続き、費用等は明記されているか 入学希望者等への学校広報のためのイベントは実施されているか 上記の入学希望者等への広報イベント以外に社会広報活動は実施しているか		広報活動は年間計画に沿って、適切な情報提供を行いながら実施を しているが、全体としての活動の評価結果の報告書まではできてい ない。	4
	2.2 入学後の導入教育	入学した学生への情報提供は適切か 最終的な入学手続きが行われているか 1年次学生に対する説明会等は実施されているか		5	入学後の導入教育については毎年、期間を設けオリエンテーション などを実施している。	5
	2.3 学生のニーズに留意しているか(事務、教育、福利厚生)	事務局	事務局は学生個々人に留意しているか 事務局の学生との連絡方法と事務局の業務 時間は適切に設定されているか 事務局の学生の学習記録等の処理方法は適 切か 学生は自己の学習記録にアクセスできるか	5	学生連絡ツールとしてsigfyを導入し電話連絡を極力少なくすることができた。一方で、学生が自己の学習記録にアクセスできる環境づくりまでは至っていない。	5
		福利厚生	教育交流プログラムやインターンシップを 含め学生の相談に応じることができるシス テムになっているか 学生の福利厚生を担当する部署はあるか		クラス担任制度を設け、クラス担任が窓口となりサポートを行っている。 総務部にて学生のサポートを行っている。	-

		評価項目	自己評価	課題と改善方策	学校関係者評価
2.	.4 学生の能力評価	教員が学生の能力を幅広く評価するメカニズムがあるか	4	成績面では定期試験の評価を、そしてインターンシップでは企業からの評価を参考に各人の能力や資質を把握することに努めている。令和4年度はインターンシップの評価表を改編した。評価項目を細分化し、企業が学生の勤務状況をより把握しやすくした。	4
2.	.5 学生満足度調査	各授業の出席率の調査結果はあるか 出席基準は妥当か 欠席および退学に関する統計はあるか 各科目の教員についての学生からの評価方法はあるか	4	出席基準は令和4年度のカリキュラム変更により授業時間数が減り、 相対的に緩いものとなっている。早急に是正すべきである。	4
2.	.6 卒業後の学生フォロー	卒業生のフォローができているか	4	卒業生の名簿は学籍簿として永久保管されている。同窓会については、令和5年に役員体制が変更となり、ホテル業界在籍者を中心とした体制になった。	4

		評価項目	自己評価	課題と改善方策	学校関係者 評価
3 教育課程および実際の教育	3.1教育課程作成の方法	教育課程の作成方法論は適切か 教育課程は国家基準や観光教育に関するガイドラインに準拠しているか 教育課程作成に校内および校外の実務経験者が参加しているか 諮問委員会の意見が教育課程作成に反映されているか 教育課程を実際の教育にする担当部署があるか	5	教育課程は国内外のホテルスクールや国土交通省観光庁の「観光経営マネジメント人材育成」を参考に作成している。3年コースを4年コースに変更するなど、時代に応じた教育課程づくりを進める中で、職業実践専門課程の識者の意見を採り入れている。	5
	3.2教育課程の一貫性	各科目のシラバスはあるか 学期毎の授業計画は教育課程を満たしているか	5	すべての科目においてシラバスに沿った授業が行われている。授業 に関しては更なる深化を行い常に学生や社会状況に合わせた内容の 更新が必要である。	5
	3.3 教育方法	教育方法に関する教員向けの授業ガイドラインはあるか 各教科の教育内容と教育方法の整合性は取れているか		教員向け授業ガイドラインがないため、作成が必要である。 職業教育の教育機関であり、教育目的がホテルスタッフやブライダル人材育成と明確であるため内容と方法について整合性は取りやすい環境にある。	
		各教科間の授業内容の一覧表はあるか 各教科間の授業内容の重複を避けるための調整機能があるか	4	シラバスを共有している。	4
		新しい教育技術を取り入れ、あるいは産業界のニーズに合致した 方法での教育内容にしてきたか		新しい教育技術についてはZOOM等のオンライン技術や、ネイティブスピーカーとのオンライン英会話を取り入れた。	

	評価項目		自己評価	課題と改善方策	学校関係者 評価
3.4 教育およびその関連施設設 備	教育施設	常時使用する講義室は整備されているか実習室は整備されているか		・令和4~5年度にかけて中村国際ホテル専門学校が主に使用している2号館の実習室等の改修を行い、充実化を図っている。 ・図書については、姉妹校の中村学園大学の図書館の利用ができるよう連携協定を締結した。	
		観光に関する情報施設(図書室等)はあるか	5		5
	W de BRANCE (Com	コンピュータに関する施設は整備されているか		W. d. Marg. N. d. A. M. d. A.	
	教育関連施設	スポーツ施設は整備されているか 学生食堂は整備されているか	4	学生が運営している学生食堂は整備されているが、スポーツ施設の整備に至っていない。	4
	教育に関する安全と 保守の方法	教育施設の安全を守る方法は適切か		施設担当者を配置しており、安心安全な学校生活を送れるよう計画的な保守メンテナンスを行っている。	
		教育施設の保守の方法は適切か	5		5
		教育施設の安全と保守の実行方法は適切か			

		評価項目	自己評価	課題と改善方策	学校関係者 評価
4 教員	4.1 教員採用	教員採用の基本的基準はあるか 専任教員採用の方法は適切か 実務家教員が教育に参加しているか	4	専任教員の採用は適切に行われている。実務家教員も充実化している。 る。	4
	4.2 教務	教務部署の組織は適切か 教員の定例会議は行われているか 教務機能の結果の監視と評価が行われているか	4	教務部署の組織づくりが進むとともに、定期会議も隔週で行いPD CAサイクルに則った教務運営がなされている。	4
	4.3 教員の能力	教員能力の評価と報奨は適切か 教員の昇級、昇進等の機会は適切に設定されているか	4	教員の授業実施状況、その他の業務の状況から評価をし、賞与や昇級・昇進の参考としている。	4

	評価項目		自己評価	課題と改善方策	学校関係者 評価
4.4 継続的な知識の更新	教員研修	教員が資格等を得るための参加できる研修 は実施されているか		一般社団法人の福岡県専修学校各種学校協会が主催する教員研修を 活用している。教員が資格等を得るための研修はほとんど実施され ていない。	
		上記研修の支援方法は適切か	3		3
		研修プログラムの選定の基準は妥当か			
	研究活動	教員の研究活動は行われているか		教員の研究活動は一部の教員のみ行っている状況である。	
		研究に用いられる施設はあるか			
		他の教育機関等との研究連携協定はあるか			
		研究項目と産業界のニーズの整合性は取れているか	3		3
		研究に対しての産業界の積極的な参加はあるか			
		研究に対しての予算設定や補助はあるか			
		研究活動は有効なものになっているか			

		評価項目		自己評価	課題と改善方策	学校関係者 評価
5 経営	5.1 経営組織	経営組織は適切か 事務局の組織と業務 分掌は適切か 労働環境のアンケー トは実施されている か		4	・毎年学園内の業務分掌を明確に決めている。 ・日々の学園の意思決定として毎月、責任者にて学園協議会を実施 している。また、最高意思決定機関として、理事会・評議員会を実 施している。 ・労働環境のアンケートとして「ストレスチェック」を教職員に 行っている。	4
	5.2 教育の質保証	質保証計画 (クオリティプラン)	総括的な教育の質保証は実施されているか すべての学校関係者が質保証計画を知って いるかどうかのアンケートと評価を実施し ているか 質保証計画が適切に実行されているか	3	中村専修学園全体の中期計画・年度計画は、理事会・評議員会の意見聴取を経て承認され、学園協議会を通じて学園全体に共有される(レベル1)。その計画は、部門ミーティングを経て中村国際ホテル専門学校(ホテル部門)に部門目標として共有される(レベル2)。部門目標は教職員の担当分野の個人目標として設定される(レベル3)。3つのレベルそれぞれで計画・目標のPDCAサイクルを循環させる仕組みが構築されている。	3
		教育の質のモニタリング	質保証計画の結果としての評価表があるか モニタリング担当部署はあるか	4	TedQualが行う評価表をもとに教育の質の向上を図っている。 教育の質のモニタリングは学生の授業評価や学校満足度調査程度し かできていない。	4

①評価領域B

	評価項目	自己評価	課題と改善方策	学校関係者評価
産業界との連携	教職員および学生の国際交流の活発化	3	・コロナ禍で活動ができなかったが、令和5年度からは学生の海外研修を再開し、授業の中で 積極的な活動を行う予定である。	3
学生	学生の英語力の向上および留学生の獲得	3	・1年次に英文法を中心に基礎的な英語力を養成する新しい指導方法を導入。学生を3つのレベル (初級・中級・上級) に分けて各レベルの到達目標を設定した。一定程度英語スコアも上昇しているが、さらなる努力が必要。 ・留学生への広報活動を行っているが、コロナ禍の影響でまだ多くの留学生獲得には至っていない。	3
教育課程と教育方法	・業界のニーズ、日本の労働市場のニーズ調査の 実施 ・学生が集中力を高め、知識の普及を最適化する 具体策の実施	5	・教育課程編成委員会を年2回開催し、業界からカリキュラムに対する意見収集をしている。 また、日常的に企業との情報交換を行っている。 ・1年次に朝に新聞記事の模写を行って、読解力向上とともに、集中力を高めている。	5
教員	・専門図書の充実を図る ・教員対象の最新の教授法の講習会等の開催によ る授業方法の向上	3	・専門図書の購入を進め、図書の充実を図った。中村学園大学図書館との提携を図り、教員および学生が同図書館を利用できることになった。 ・最新の教授法の講習会等の開催はできていない。	3
マネジメント	海外の教育機関との連携協定を結ぶことにより、 教育技術を向上させるとともに、国際化の推進を 図る	3	令和4年度は新型コロナウイルス感染症により予定していたニュージーランドまたはカナダでの海外研修は実施できなかった。また、海外の教育機関との連携協定などは実施できていない。	3
世界観光倫理憲章の達成	世界観光倫理憲章の日本語リーフレットを作成し、九州管内でのその普及を図る	5	憲章について掲示や学生便覧等で幅広く紹介を行っている。世界観光倫理憲章の日本語リーフレットを作成し、中村祭の来場者に学生がリーフレットを配布し、憲章の精神を解説した。また、令和5年度から新たな科目を設けて憲章の内容を授業に取り入れていく。	5

①評価領域C

	評価項目	自己評価	課題と改善方策	学校関係者評価
産業界等との連携	学校の理念や社会のニーズを踏まえた職業教育を推進しているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	・教育理念の明文化は十分ではない。 ・産業界との連携の中でそのニーズを把握し、また「実学教育を通じた社会人としての豊かな人格形成養成」の理念を活かして教育活動を推進している。特に令和4年度から新学科を開設し、カリキュラムの変更とともに、諸規則の変更を行った。 ・「形は心の現れ」の教育理念に基づき、服装、あいさつ、時間厳守等の指導を実施している。	4
	業界や地域社会等に対するコンプライア ンス体制が整備されているか	5	・9月26日から11月28日まで5回の職員朝礼において、国民教育の師父・森信三著『修身教授録』を取り上げ、教育者の使命や資質など心棒をつくるための研修を行った。 ・コンプライアンス遵守の実態点検を組織的に行う準備はまだできていない。	5
経営	個人情報に関して、その保護のための対 策が執られているか	4	・出席簿や試験答案をはじめとした学生の個人情報は適正に取り扱われている。 ・8月15日の職員朝礼において「部落地名総鑑に怒り」の題で、8月29日の職員朝礼では「差別戒名 死後も貶め」の題で人権教育研修を行い、大切な個人情報を守る意識を高めた。	4
	中長期的に学校の財務基盤は安定してい るといえるか	5	現状は無借金経営で財務状況は良い。	5